

## シリーズ 4

### 「グループで聖書を読むということ」

#### 国外の日本人聖研グループ特集



外務省の発表によると、海外に暮らしている邦人は125万人以上（2013年10月現在）で、そのうちの83万9千人が長期滞在者だそうです。「在留邦人の数は年々増え続けている」とのことですから、海外で福音に触れる日本人もさらに増えていくことでしょう。

聖書を読む会の手引は、世界各地で伝道と信徒訓練のために用いられています。



タイの地でも、教会の働きのために手引が用いられています。私たちの理事でもある水口師に体験を伺いました。

#### チェンマイ日本語教会

#### バンコク日本語刊社教会 タイ聖書福音教会

東京フリー・メソジスト教団 南大沢チャペル牧師  
聖書を読む会理事  
水口 功

今年の2月、私たちの教団の宣教ツアーに、総勢11名のチームで赴く恵みに与りました。

タイ北部に位置するチェンマイの日本語教会で、今日まで10年間牧会を続けてこられた野尻孝篤師・明子師ご夫妻は、私たちの教団から派遣されている宣教師です。私たちは先生方の宣教現場の視察と若干のお手伝いのために、2年か3年おきに、今回のような宣教ツアーを重ねてまいりました。

第4回目となった今回は、チェンマイに到着する前に、首都バンコクに立ち寄りました。その目的は、バンコクにある2つの日本語教会、「バンコク日本語キリスト教会（牧師：中

岡和彦師）とタイ聖書福音教会（牧師：横谷亘師）」を訪問するためでした。

私たちは両教会の祈祷会に参加し、牧師をはじめ、集会に来られた姉妹と親しく交わる機会を得ました。お交わりをしていく中で、どちらの教会も、もうすでにSYK（聖書を読む会）の手引を用いたグループ聖研を行っていることがわかりました。それは、長きに渡って牧師が不在であった期間に、みことばに対する飢え渴きを経験していた信徒の方々が、SYKの手引と出会い、グループで聖書を読む幸いを味わってこられたからでした。

また現在の両教会の牧師とも、グループ聖書研究が、伝道と信徒の成長に益することを良く理解しておられました。こうしてバンコクの2つの日本語教会で、SYKの手引が実際に用いられている様子を、目の当たりにすることができて感謝しました。

続いて訪問したチェンマイ日本語教会では、同教会で月に1、2度行っているグループ聖研に参加することができました。

事前に「楽しい、帰納法的なみことばの学び方が良く分かるような講義を」という依頼をいただいていた私は、最近発行されたSYKの改訂版の手引の冒頭に掲載されている「さあ始めましょう！—手引の使い方—」をベースに、グループで聖書を読む心得、聖書の読み方、司会者の心得などについてお話をしました。当日集った方々の中には、求道者も数名おられましたが、皆さん、熱心に耳を傾けておられました。

講義の後は「マルコの福音書」の手引から、5章1節～20節を、3つのグループに分けて学び、その後、分かち合いのときを持ちました。それぞれのグループから、みことばを楽しく学ぶことができたという報告がありました。

先日、野尻孝篤師から、この日の学びに出席されていたWTさんが、最近信仰決心をし、洗礼の準備を始められた、という嬉しいニュ

ースを伺いました。

日本から遠く離れたタイの地でも、SYKの手引が伝道とクリスチャンの成長のために用いられていました。その様子を実際に見て、たいへん励まされ喜びで満たされました。

### ヨーロッパ・アメリカの邦人聖研グループにインタビューしました！

#### 🇩🇪 南ドイツ、サウルガウ市

(クライナー・佐々木千恵子姉)

聖研メンバーは？

音楽関係を定年退職された方、生け花の先生、レストラン経営者、主婦。50～70歳代の方々が、6～7名集まっています。

手引の利点は？

牧師先生がいつもおられるとは限らない環境でも、自分たちで聖書を学べます。

手引を使って感じていること

時々、ハッとひらめくように心に響いている様子が伺われ、それが周りに連鎖することがあります。神様が働いてくださっています。

エピソードなど

・「基礎の学び」の3課を学んだ後、突然「洗礼を受けたい」と電話があり驚いたことがあります。お皿を洗っていたときにはと思ったそうです。

・聖書にあまり興味を持っておられないのかな…と思っていた方が、後に「家で子供向けの聖書のCDを聞いている」と聞いて、神様は働いておられると思ったことです。

#### 🇺🇸 アメリカ、シアトル日本人長老教会

(中西 覚牧師)

① 聖研メンバーは？

シアトル近郊で二つのグループ(4～7人)があり、日本人女性がほぼ毎週集まって手引を使って学んでいます。

② 手引の利点は？

・聖書を「読み込む」のではなく、「読み取る」訓練になります。

・リーダー・弟子の育成ができる(牧師、教師がいなくても学びができる)。

・交わりの中で、聖書を共に読むことの楽しさを味わえます。

・聖書から自分で答えを見つけるので、押し付けがましくない。教えられることを、自分のものとして受け止めることができる。

③ 手引を使って感じていること

質問がわかりづらいことがあります。

④ エピソードなど

・初めての方と聖書を学ぶときや、洗礼準備クラスで「基礎の学び」を使っています。これを通して人々が、救いや洗礼に導かれています。

・「基礎の学び」のバイリンガルバージョンがあると、海外での使用の幅が広がるかもしれませんね。

#### 🇺🇸 ニューヨーク周辺邦人宣教

##### グリニッチ福音キリスト教会

(立石 尚志牧師)

① グループを紹介してください

聖研グループは4つ。

・高齢者グループ：12年近くも続いていて、手引は大方制覇。

・駐在員中心グループ：メンバーの交代が激しい。発言することに慣れていない人が多く、慣れたころには帰国というケースもしばしば。

・新永住者グループ：8年続いている聖研。この中から男性3名が受洗。毎週、夜8時頃から3時間続く熱心な学び会。

・国際結婚の妻たち中心グループ：クリスチ

ヤンのための聖研と祈り会、未信者の方との聖研の二段構え。家庭集会では重要教理や各書の概観など、手引では学びきれない部分の補完をしている。

## ② 手引を使う利点は 参加者にとっての利点

聖書そのものを開き、みことばに親しむことができる。また、「みことばを生活化する」ために十分な時間を取ることができる。ただし、これは主催する側が意識し続ける必要がある。適用の宿題と確認はよい方法かもしれません。

## 牧師にとっての利点

- ・たくさんの聖研に参加しても負担にならずにすむ。
- ・参加する人たちの発言や疑問を通してその人を知ることができる。それは、会衆の必要を理解することになり、結果的に説教の準備に役立ちます。

## ③ 手引を使って感じていること

・幼い頃から「発言すること」を励まされていない私たち日本人には、沈黙が続いてしまう難しさがある。この手引を使うにあたって、主催する側が「新しい聖研の文化を作り出していくのだ。」という「意識」を持つことが肝心だと思う。日本で育った日本人のグループと現地で生き抜いてきた日本人のグループの両方をみると、そのことがはっきり見て取れる。しかし、主催者が祈りつつ、「意識」と「忍耐」を持って導くならば乗り越えることができるでしょう。

- ・時間はかかるが、学び続ける人は確かに成長する。
- ・手引は、物語性のある聖書箇所を学ぶとき、絶大な力を発揮します。
- ・手引だけでは不十分なこともあり、牧師が教理や各書のまとめの学びなどをして、補う必要がある。

## ④ エピソードなど

◆◆◆ 「聖書を読む会」の働きは、皆さまのお祈りと献金によって支えられています ◆◆◆

信仰者はいつも霊的な戦いの中におかれています。こんなことがありました。

「マルコ」の学びでは、はじめのほうで悪霊追い出しの記事が出てきます。私たちの聖研で学んでいた方の中に具体的にこのような問題と直面した方が二人おられました（それぞれ別のケース）。学びを通して悪霊の働きを知っていた彼らは、問題が起きたそのときに牧師に助けを求めてられました。祈りつつ導いた結果、悪霊との戦いに勝利され、その後、ますますみことばの学びに熱心になり、喜んでクリスチャンとして歩んでおられます。

\*\*\*  
インタビューへの回答をありがとうございました。異文化・異言語生活の中で味わう、みことばの「日本食」。どんなに味わい深いものでしょうか。一方、日本という文化的な枠の中での聖研が乗り越えなければならないハードルがあることも知りました。御霊の助けをいただいて、皆さまの聖研がさらに豊かなものとなりますように。

